

予防接種ガイド



4.1
2023
(令和5年)

予防接種はこどもの健康を守るために大切です。適切な時期に接種しましょう。

予防接種スケジュール

※予防接種の受け方は裏面(2ページ)をご覧ください。

ワクチン (種目)	月齢 (年齢)	2	3	4	5	6	7	8	9	12	15	18	2	3	4	5	6	7	8	9	10歳~		
		か月	か月	か月	か月	か月	か月	か月	か月	か月	か月	か月	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
ロタウイルス	ロタリックス(1価) 生(飲む)	①	6週0日後~		②	24週0日後まで																	
	ロタテック(5価) 生(飲む)	①	6週0日後~		②	③	32週0日後まで																
B型肝炎	不活	①	②	③																			
ヒブ(Hib)	不活	①	②	③	④												②③は1歳を越えた場合行わない。④は可能(④は③から7か月以上空ける。)						
小児用肺炎球菌	不活	①	②	③	④												④は1歳以降、かつ③から中60日以上空ける。						
四種混合(DPT-IPV)	不活	①	②	③	今年度より生後2か月から接種可能となりました		④												7歳5か月まで→		①		
結核(BCG)	生(注射)	①				二種混合(DT) (11歳~12歳11か月)																	
麻しん風しん混合(MR)	生(注射)	①												②		小学校就学前の1年間 (H29.4.2~H30.4.1生まれの方)							
水痘(みずぼうそう)	生(注射)	①												②									
日本脳炎	不活	特例接種は4ページ参照												①②	③	7歳5か月まで→		④				2期 (9歳~12歳11か月)	
子宮頸がん予防 (ヒトパピローウイルス感染症)	不活	対象者が拡大しています。(4ページ参照)												(H19.4.2~H24.4.1生まれの方) ①②③ (小学6年~高校1年相当に3回)									
おたふくかぜ(特別接種)	生(注射)	①												②		小学校就学前の1年間 (H29.4.2~H30.4.1生まれの方)							

←○→: 標準接種期間(数字は接種回数) ■: 無料接種対象期間 生(注射): 生ワクチン(注射) 生(飲む): 飲む生ワクチン 不活: 不活化ワクチン

標準接種期間と無料接種対象期間

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています(標準接種期間)。乳幼児は日々体調が変わり、他にもいろいろな事情でやむを得ず標準接種期間内に接種を受けられないこともあります。対象期間内であれば無料で接種できます。定期予防接種のワクチンは、国により疾病の予防効果と一定の安全性が確認されていますが、接種により副反応として一時的な発熱や接種部位の発赤などがあらわれることがあります。ワクチンの効果と副反応を理解し、より抗体がつきやすい標準接種期間に接種することをお勧めします。

- ロタウイルス: 以下のワクチンの一方のみを接種
 - ・ロタリックス(1価)
6週0日後~24週0日後の間に2回
 - ・ロタテック(5価)
6週0日後~32週0日後の間に3回
- B型肝炎: 11か月までの間に3回
- ヒブ(Hib)※2回目以降の接種年齢により回数変更有
 - ・対象: 2か月~4歳11か月
 - ・接種開始月齢(年齢)と接種回数
 - ◆2~6か月: 4回※
 - ◆7~11か月: 3回※
 - ◆1歳~4歳11か月: 1回※
- 小児用肺炎球菌※2回目以降の接種年齢により回数変更有
 - ・対象: 2か月~4歳11か月
 - ・接種開始月齢(年齢)と接種回数
 - ◆2~6か月: 4回※
 - ◆7~11か月: 3回※

- ◆1歳~1歳11か月: 2回
- ◆2歳~4歳11か月: 1回
- 四種混合(DPT-IPV)
(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)
 - ・1期 2か月~7歳5か月の間に初回接種3回、追加接種1回
※三種混合接種未完了の場合は、不足分を四種混合で接種(ポリオ接種完了の場合は三種混合での接種も可能)
 - ・2期 二種混合(ジフテリア・破傷風)
11歳~12歳11か月の間に1回
- 結核(BCG): 11か月までに1回
- 麻しん風しん混合(MR)
 - ・1期 1歳~1歳11か月の間に1回
 - ・2期 小学校就学前の1年間(平成29年4月2日~平成30年4月1日生まれの方)に1回
- 水痘(みずぼうそう): 1歳~2歳11か月の間に2回

- 日本脳炎
 - ・1期 6か月~7歳5か月の間に初回接種2回、追加接種1回
 - ・2期 9歳~12歳11か月の間に1回
- 子宮頸がん予防(ヒトパピローウイルス感染症)
女子で小学校6年生~高校1年生相当の間に3種類のワクチン(サーバリックス(2価)、ガーダシル(4価)、シルガード9(9価))のいずれかを3回
- おたふくかぜ(特別接種)
 - ・1回目 1歳~1歳11か月の間に1回
 - ・2回目 小学校就学前の1年間(平成29年4月2日~平成30年4月1日生まれの方)に1回

各予防接種の詳細はホームページをご覧ください。お子さんの予防接種
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/yobosesshu/koyobosesshu/index.html>



【異なるワクチンの接種間隔について】
 1. 新型コロナウイルスワクチンと他のワクチンとの接種間隔は中13日以上空けてください(2週後の、接種日と同じ曜日から接種可)。
 2. 不活化ワクチンと飲む生ワクチンは、異なる種類のワクチン間の接種間隔の制限はありません。 ※新型コロナウイルスワクチンとの接種間隔は中13日以上
 3. 異なる生ワクチン(注射)間の接種間隔は中27日以上空けてください(4週後の、接種日と同じ曜日から接種可)。

町田市・日野市・多摩市・稲城市でも定期予防接種を受けられます

八王子市を含む5市の個別予防接種実施医療機関であればどこでも、特別な手続きを行うことなく無料で定期予防接種を受けることができます。ただし、八王子市独自の制度(任意予防接種の費用助成制度)であるB型肝炎特別接種、麻しん風しん混合特別接種、おたふくかぜ特別接種、先天性風しん症候群対策麻しん風しん混合特別接種は八王子市の個別予防接種実施医療機関でのみ接種を受けられます。